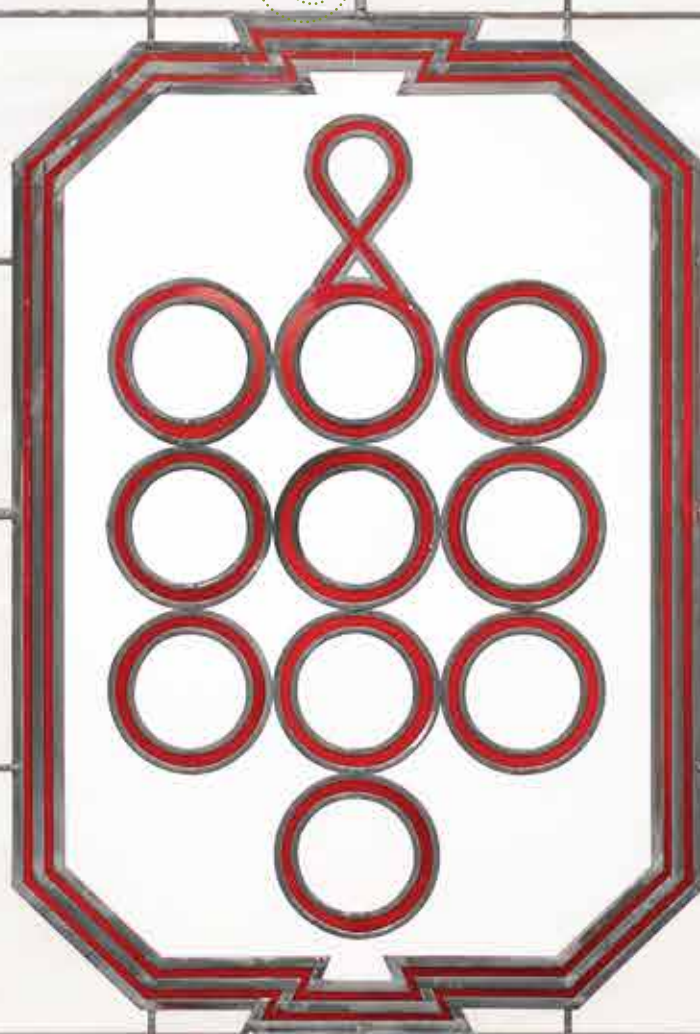




B U D O U
Alumnae association bulletin

2013

福岡女学院同窓会会報



Contents

同窓会会長挨拶	1	福岡女学院からのお知らせ	13・14
小野田先生を偲んで	1・2	福岡女学院天神サテライト 開設10周年特別市民講座	15
2012年度同窓会総会報告	3・4	学院資料室より	15
Mission Family	5・6	さようならドルカス・ホール ありがとうドルカス・ホール	15
カナン寮 同窓会報告	6	同窓会報告	16
2012年度の支部会報告	7・8	会計報告	17
卒業生紹介	9・10	ガリラヤ湖のほとり	18
なつかしの部活動	11	イベント案内	19
卒業50年記念卒業式に参列して	12	編集後記	19
グレーブ・ガーデンとは?	12		

Vol. 18
2013 March

長 撈 会 換

同窓会会長
栗山 昌子
(S30年高卒)



母校に足を運んでみませんか

今年の同窓会総会は5月17日(金)、会場は西鉄グランドホテルです。皆さまのご参加をお待ちいたしております。

翌日の福岡女学院創立記念式典にもご出席なさって、メイポールダンス、メイクインの行事をお楽しみください。当日同窓会ではホームカミングとバザーを行います。学院も今年は講堂で音楽祝会を開催します。在校生と同窓生が一緒になって創立記念日をお祝いたしましょう。

卒業して福岡を離れてしまうと、なかなか母校に足を運ぶ機会がありませんが、今年は是非母校の門をくぐって下さい。

現在、新棟が建築中です。いずれ学内で同窓会総会が開催できるのも夢ではないかもしれません。

支部会にもどうぞ

全国に10箇所ある支部で年に一回行われている支部総会では、理事長を始め、学院の代表がご出席になり、学院の現状を報告して下さいます。年代を超えた同窓生の集いでは「女学院は私の原点です」とおっしゃる先輩の方々に接し、ぶどうの枝から枝への繋がりを感じさせられます。皆さま、ご所属の支部会は勿論、ご友人所属の支部会など、どの支部会でも結構です。是非ご出席ください。



「凛として花」輪

130年の歴史を貫いて流れる福岡女学院のこころを伝えたいとの思いで、徳永徹先生(福岡女学院名誉院長が「凛として花」輪」という題の本を出版されました。創立以来女学院を支えてこられた歴代の宣教師や校長先生の姿、また、同窓生の一人一人のこころの歴史が綴られています。

先輩方の凛とした生き方に、母校への思いと福岡女学院に引き継がれてきた伝統の重さを感じさせられる一冊です。

同窓会と母校の繋がり

4月から学院に校友課が設置され、学院と同窓会とのパイプができました。校友課が窓口となり、同窓生の要望に応じ、施設の案内や資料の検索、礼拝への参加の機会も提供してくれます。懐かしいクリスマス礼拝にも参加できそうです。また、イベントの立案及び実行など学院と同窓会との協力体制が整い、円滑な交流ができるようになります。

ました。現在、同窓会は中高・大学・看護大学の学院祭にも参加しています。

私共同窓生は母校福岡女学院の発展を心から願っております。そのためには学院の現状を知り、学院は同窓会に何を望んでいるのか、同窓会は何ができるのかをお互いに話し合いながら、母校の発展に寄与していきたいと思っております。

小野田先生を偲んで



母への感謝

小野田 明彦

両親を早く亡くした私たち子供3人(姉故西原久美子:S33年高卒、兄西原邦彦:現事務局長、私明彦:S45年によし子の養子)は、実母(故西原文子:S7年女卒)の妹である叔母よし子に引き取られ育てられました。私たちを引き取ったこともあり、母は生涯独身を通しました。

女学院を定年退職したあとは、愛犬との大濠公園の散歩を日

小野田よし子先生(S11年女卒)が昨年5月天に召されました。卒業生や教職員の方々から、先生との思い出を偲ぶ言葉を多くお寄せいただきました。その中からここにほんの一部をご紹介します。皆様の中の先生との思い出を、先生の教えとともに、いつまでも忘れずに心に留めておきたいと思います。

課とし、趣味のクロスステッチや編み物、園芸などにも随分と熱心に取り組んでいました。

私が3年前に37年ぶりに福岡に戻り、母と同居して一緒に過ごせた日々は、一言で言えば母への「感謝」の気持ちに凝縮されると思います。兄も2年前から福岡居住となりましたので恩のある母の最期を兄弟で看取れた事に神様のお導きを強く感じました。

93年の生涯を清く正しく生じた母は、私の心に沢山の思い出と、沢山の愛情を残して天国に旅立って行きました。

小野田よし子先生履歴

1919.3	米国サンフランシスコで生まれる
1931.4	福岡女学校(現福岡女学院)入学
1936.3	同上卒業
1941.4	福岡女学院に家庭科教師として就任
1957.12	福岡女学院同窓会会長就任
1960.2	同上退任
1974.4	福岡女学院副校長就任
1974.5	同上理事就任
1982.5	福岡女学院同窓会会長就任
1996.3	同窓会長及び理事退任
2012.5	心不全で死去



「凜として」が一番 お似合いになる先生

日浅 京子さん(旧姓:口石)
(S30年高卒)

「凜として花一輪」と言う言葉が一番ピッタリする先生だった気がします。

小野田先生のことは徳永徹先生が出版された本(凜として…)にくわしく書いて下さっています。私自身生徒として、学院の職員室の事務員として、ずい分お世話になった気がします。いつも毅然としていらっしゃいましたので近寄りがたく気を使いすぎて誤解をうけたことも思い出します。学生時代の授業では、手紙等の書き方で相手の名前を書く時、たとえば「小野田」を「小の田」と書いたり「様」を「称」と書いたりしない。人と会うときは良いものでなくても、きっちりした姿で相手に失礼にならない様に等、今でも思い出します。大濠公園の近くにお住まいで、犬をかわいがっていらっしゃいました。小野田先生には「女学院の生徒をみてください。私が育てました。」と堂々とおっしゃって欲しい先生のお一人です。学院や教会の集まり等、年に一回位お目にかかる時、いつも「ア～○○さんネ」と笑って下さいました。

最後に「先生の生徒で、そして同じ所で務めさせて下さってありがとうございました。」



小野田先生との思い出

藤井 絢子さん(旧姓:山本)
(S18年女卒・S19年専1卒)

女学校4年の時、大阪府立の女学校から転校して来て小野田先生のクラスになりました。

キリスト教のことを全く知らない私に優しく話してくださいました。当時は、カネボウの部品づくりや白衣の繕い等が多く、先生は優しく厳しくご指導下さいました。

亡くなられる直前まで女学院教会にご出席でしたが、私も先生にお会いするのが楽しみで、教会に行きおしゃべりをしていました。

ご冥福をお祈りいたします。



宮城 芳子さん(旧姓:赤星)
(S40年高卒・S42年短卒)

南薬院校舎での最後の年に、私たちは中学に入學しました。

小野田先生は中学主事でした。お話になる時は生徒の私たちにも丁寧な言葉を使われたのが印象に残っています。

日曜日には全員教会出席、月曜日は学校はお休みでした。私は福岡女学院教会で小野田先生をお見かけすることになりました。教会学校の子供たちに囲まれた先生、教会役員の先生、礼拝でオルガンを弾かれる先生を懐かしく思い出します。

同窓会会長をなさった頃、私は先生のきっぱりとした男性的なところに魅かれました。暮れのある日に「縁側にね、大根がゴロンと転がっているのよ」とお忙しい様子をもらされました。



ありがとう

多川 美智子さん(旧姓:岩橋)
(S34年高卒)

「先生、明朝9時40分過ぎにお迎えに行きますから、お家で待っていてくださいね。」

「ありがとう。いつもゴメンネ。」

土曜日の夕方の電話での会話です。そして翌朝私は5分前に着くよう急いで車を出さなければなりません。というのは、先生は昔から待たせるのがお嫌い、いつも時間より早く外で待っていらっしゃるからです。

ある時、私の家から先生のお宅まで500M位あるのですが、向こうからトボトボと(失礼な表現ですみません)歩いて来られるのを見てびっくりしたことがありました。先生は、私に迷惑をかけたくないというお気持ちからでしょうが、私としては「こりゃアカン、もっと早く出なくちゃ!」と慌てたことでした。でも、先生は何事もなかったかのように、「ありがとう。いつもゴメンネ。」

それから、5分前のお迎えが10分、15分とどんどん早くなり、ついには教会一番乗りということもありました。何よりも日曜日の礼拝を楽しみにしていらした先生ですので、心が早や女学院教会におありだったのでしょうか。

その後、教会への送り迎えは義理のご子息の小野田明彦さんに代わりましたが、私の顔をご覧になっては、ずっと言ってくださった言葉があります。

「ありがとう。いつもゴメンネ。」

いつも優しく気遣ってくださった先生へ

「私こそ本当にありがとうございました。」



板垣 瑞穂さん(旧姓:土居)
(S33年高卒)

追想のそれは、昭和23年、私が浄水通りの石賀先生宅2階に住んで居られた小野田先生の姉君、西原文子先生に、ピアノの手解きを受け出した日に始まります。

爾来60有余年、先生は家族の事、特に母の事を常に気遣い、安否を問い続けてくださいました。

姪ご様の久美子さんと私が同級生であった事も先生の思い出の中におありでしたのでしょうか。

感謝をこめて…



宗田 奈穂子さん
(S63年高卒・H3年短卒)

小野田先生と直接お目にかかることはありませんでしたが、私が中学校の時に「静淑庵」が小野田先生より寄贈されました。当時2年生だった私達が発起人となり、「中学茶道部」が発足しました。

この歳になってお作法で困らないのも、あの頃のお稽古のおかげだと、大変感謝いたしております。

2012年度同窓会総会報告



総会プログラム

Fukuoka Jo Gakuin 127th

第1部

◆ 礼 拝

讃美歌 412番(讃美歌21)
聖書 コヘレトの言葉 第12章1節
奨励 福岡女学院中・高校長 二田 真知子
「大切な一人」
頌栄 Gloria Patri

司会/山下 惜子 (S55年高卒)
奏楽/水上 史子 (S60年音卒)

◆ 総 会

開会のことば
会長挨拶

副会長 市岡 洋子 (S52年高卒)
栗山 昌子 (S30年高卒)

Fukuoka Jo Gakuin 127th

第2部

◆ 懇親会

来賓紹介
食前の祈り
乾杯

恩師紹介
支部長紹介
トークショー

ピアノ演奏・「映像鑑賞」

ゲスト 藤間 紀子さん (S39年高卒)
(松本 幸四郎夫人)

クライスラー 「愛の喜び」
大島 ミチル 「風笛」

ドビュッシー 「アラバスク第1番」

合 唱

J.G. ラインベルガー作曲
変奏長調ミサ曲「キリエ」[サンクトゥス]

創立記念日の歌

ハレルヤコーラス

当番学年 (S60年高卒・S62年短卒) 紹介

来年度当番学年 (S61年高卒・S63年短卒) 紹介

閉会のことば

司会/田原 えり
(S60年高卒・S62年短卒)

お 食 事

司会/山崎 夕希子 (S56年音卒)
(フリーアナウンサー)

水上 史子 (S60年音卒)
末吉 恵子 (S60年音卒)
北島 三央 (S60年音卒)

福岡女学院卒業生合唱団「葡萄」

指揮/吉安 信子 (S63年高卒)
ピアノ/平川 美幸 (S63年音卒)
水上 史子 (S60年音卒)

副会長 鶴 英子 (S38年高卒)

【第一部】礼拝・総会

奨励は、2012年4月に中・高校長に就任された二田真知子さん(S45年音卒)にお願いしました。「大切な一人」についてお話を伺いました。その中で、現在の中学・高校の現状については入学者が減少していますが、同窓生のあたたかい支えもあり、

女学院らしさは今も変わらずに脈々と受け継がれていると言うことでした。議事はすべて承認されました。今年度は3名の役員交代がありました。栗山会長をはじめ、20名の役員で同窓会の皆様のお役に立つよう、努めます。

2012年5月17日(木)ホテル日航福岡にて、来賓及び同窓生241名の参加のもとに創立127周年、2012年度同窓会総会を開催いたしました。



【第二部】懇親会
懇親会は名誉院長・同窓会看護大
学部顧問 徳永徹先生の乾杯で、始
まりました。ゲストに藤間紀子さん
(S 39 年高卒)をお迎えし、山崎夕希
子さん(S 56 年音卒)の司会で和や
かなトークショーとなりました。ご
主人の松本幸四郎様のおいさまぶ
りや、ご子息、市川染五郎様のお父さ
まぶりなど、ご家庭での楽しいご様子
が目に見え、浮かぶようなお話を伺うこと
ができました。

その後、当番学年の方々によって、こ
れまでのメイクインの歴史が、ピアノ
の演奏とともに流れました。参加さ
れた同窓生の中にも3名のメイ
クインがいらつしゃいました。
卒業生合唱団「葡萄」の合唱、それ
に続いて同窓生全員で「創立記念日の
歌」「ハレルヤ」の大合唱で、華やかに宴
を終えました。

今年度の総会もたくさん同窓生
のご協力で無事に終えられた事に感
謝いたします。
ご列席のみなさま、各支部の方々、
当番学年の方々には心から感謝いた
します。

同窓生の皆様、今年もまた福岡女
学院へ帰ってきてくださいな。



「当番学年ですよ!」とお声をかけていただき、「女学院に
帰れる」という思いと、「私はぶどうの木。あなたがたはその
枝である。」この学院聖句を思い出しました。学院を卒業し
ても、あなた方ひとりひとは、ちゃんとつながっているんで
すよ!と、改めて教えていただいた様な気がします。今年は、
大好きな学院の歴史の一部「メイクインの歴史」をご出席
の皆様に見ていただきたい…。そして、音楽科による演奏
で、女学院で過ごした日々を思い出していただきたい…。そ
んな思いでした。準備期間中、事務局の皆様を始め、たく
さんの方々に助けられ、総会当日をむかえられた事に感謝
いたします。これからも私達の女学院が変わる事なく、更なる
発展を学年一同、心よりお祈り申し上げます。
ありがとうございました。



当番学年
より

当番学年:S60年高卒・S62年短卒

創立128周年 2013年度

同窓会総会のご案内

- 日時 2013年5月17日(金)
- 場所 西鉄グランドホテル
- 当番学年 S61年高卒・S63年短卒
- 会費 6,000円(80歳以上の方4,000円・新卒の方3,000円)

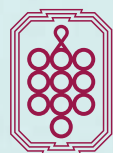
※ご注意:あらかじめ同窓会本部から許可のないチラシ・印刷物の掲示や
配布はご遠慮願います。

同封のチラシの振込用紙にてお申込みください。



毎年、素敵なお料理をおいしくいただき
ながら懐かしい話に花が咲きます。
同窓生の絆を感じられるひと時です。
今まで参加なさったことのない方も今
年はぜひいらつしゃいませんか。





Mission Family

FUKUOKA JO GAKUIN

わたしたちはぶどうの幹につながっています

これまでも そして これからも

母
迎 憲子さん
(旧姓/三浦)
S27年 高卒

私
久富久里子さん
(旧姓/迎)
S53年 高卒
S55年 短卒

娘
迎 玲奈さん
H18年 大卒

私
長友綾音さん
現中1

祖母
西村照子さん
(旧姓/鬼塚)
S30年 高卒

母
長友有希子さん
(旧姓/西村)
S62年 高卒
H11年 短卒

美智子さん

娘
松本真規子さん
H3年 高卒
H7年 大卒

娘
伊藤由樹子さん
H2年 高卒

真理子さん

娘
潮マキさん
(旧姓/小館)
S60年 高卒

貴美子さん

長女
小館貴美子さん
(旧姓/篠崎)
S33年 高卒

次女
柏木美智子さん
(旧姓/篠崎)
S35年 高卒

三女
伊藤真理子さん
(旧姓/篠崎)
S41年 高卒
S43年 短卒

3姉妹が女学院卒。
その娘さん達も全員
女学院卒です。

祖母
三坂万里子さん
(旧姓/真岸)
S31年 高卒

母
水田美絵さん
(旧姓/三坂)
S54年 高卒

祖母と私はネクタイの
結び方が一緒で、母とは
上靴の色が一緒です。
これも何かのご縁で
しょうか？

私
水田笙子さん
現 高1

姉(長女)
カズコ/リックさん
(旧姓/鶴原)
S16年 女卒

姪
古賀美緒子さん
(旧姓/吉田)
S44年 高卒
S46年 短卒

孫
木村真理子さん
H24年 高卒

姉(次女)
吉田智子さん
(旧姓/鶴原)
S20年 女卒

孫
木村美智子さん
現高2

姉(三女)
鶴原恵子さん
S27年 高卒

長女(和子さん)は現在米国在住です。
会報「ぶどう」17号に「アメリカ便り」の記事をお寄せ
いただきました。



1970(昭和45)年頃
カナン寮クリスマス



1970(昭和45)年頃
カナン寮外観

カナン寮 同窓会報告

高木 文
(旧姓/三浦)
S52年短卒

2012年10月20日(土)に、
キャンパス内にある同窓会センター
において昭和52年度短大卒旧カ
ナン寮生の同窓会を行いました。
これまで十数年毎年福岡市内の
ホテルやレストランで行ってしま
したが、今年は適当な会場が見つ
からず一旦は中止としました。し
かし、同窓会センターが利用できる
のではないかとの声があり、今回

初めてこちらを利用させていただ
きました。二度中止の案内を流し
てしまったため、集まった人数は
例年の約半数の12名でした。しか
し、卒業以来36年ぶりのキャンパス
という方も半数程いらっしゃり、
「懐かしい」の連続でした。学食で
のランチ、校内見学、キャンパス内
散歩、同窓会センターでのおいしい
ケーキとコーヒーをいただきなが
らの歓談など、当時の色々な情景
が蘇り、36年前に戻ったかよう
な楽しく素敵な時間を共有する
ことができました。
次回もここでの多くの方々との
再会を約束しました。

北九州支部

淵上千津子(S48年高卒)

2012年10月1日(月)北九州支部総会を小倉ステーションホテルにて開催いたしました。

当日は台風一過の秋晴れで、女学院から松原理事長先生はじめ、木ノ脇院長先生、徳永名誉院長先生、二田校長先生、本部から山下副会長、永田さん、事務局からは藤井さんにお越し頂き感謝でいっぱいでした。先生方からは短い時間でしたが、それぞれのお立場での、女学院の近況と未来についてお話を伺いました。

今回は支部役員交代で、私を含め3名が初めてで不慣れなため緊張しましたが、参加者の温かいお心に支えられ、和やかな会となりました。場所を変えての、お茶とお菓子の2次会もほとんどの方に参加して頂きました。

次回も多くの方がご出席下さることを願っています。



広島支部

守屋 靖子(S28年高卒)

本年度の広島支部総会は、10月17日ホテルグランヴィアにおいて開催されました。

本部からは鶴、山下両副会長、事務局から時政さんをお迎えして、広島支部会員9名の計12名の出席者でした。集会は、讃

美歌と祈禱をもって始められ、続いて自己紹介と近況報告をし、和気あいあいの中で食事を頂きました。

来年度は2年間の予定で会長を鳥飼英子さん(S28年高卒)、副会長を柳雅子さん(S30年高卒)と若い年代の岩本文子さん(S63年高卒)に、会計は引き続き島崎礼子さん(S36年高卒・S37年専1卒)をお願いすることにしました。

今後の支部総会については、ほかの支部会と合同で行ってはとの意見も出ましたが、今まで通り毎年行うこととしました。午後2時前に閉会し、その後ロビーで話し合いの時間を持ちました。

今後は、看護大学の卒業生や若い年代の方たちに、もっと出席して頂きたいことが、皆の希望でした。



関西支部

川上 喜代子(S36年高卒)

10月20日(土)にリッツカールトン大阪にて「関西支部第18回総会・懇親会」を開催いたしました。

来賓に調 眞琴先生、David H. Mayo先生をお招きし、また学院より松原理事長、木ノ脇院長等を迎え、関西在住の3人の先生を含め総勢38名が参加いたしました。

今回、当番学年がS54年高校卒と言うこともあり、福岡より同学年卒の4人の方々が応援参加してくださいました。

懇親会では、初めての試みとして「お楽しみ抽選会」を行い、5人のラッキーな方々にリッツカールトンオリジナルの商品がプレゼントされ大いに盛り上がりしました。

短い時間でしたが、先生方や学年を超えて交流でき、まさに福岡女学院の先生・同窓生の葡萄の枝のように繋がっていることを実感できた楽しいひと時でした。

関西支部の総会・懇親会は毎年10月の第3土曜日に開催されます。

今回参加できなかった関西在住の同窓生の皆様、どうぞ次回はぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。心よりお待ちしております。



2012年度の支部会報告

各支部長にご報告していただきました

関東支部

竹中 和子(S33年高卒)



台風前日の9月29日(土)、虎ノ門、霞が関ビル35階、阿蘇の間にて関東支部総会がご来賓を含め、157名のご出席の下、和やかに開催されました。45歳当番学年ゼロの状況下、救いの手を挙げて下さったS50年卒5名、S51年卒3名の「the Professionals」、自称当番学年代行の尽力で、一年振りの再会の一時を楽しみました。ご来賓

はくじ引き、会員は自由席という事務上のスリム化により、各テーブルでは、思いがけないお隣さんとのお話に花が咲きました。イベントでは、河憐さ、妖艶さ、そして迫力を併せ持つ石橋梓さん(H14年音卒)の、アルトサクソフォンによるSax-O-Phunやカルメン幻想曲の演奏で会場を魅了しました。3月に退職された徳永名誉院長のスピーチやコールクレールの心温まる歌声に聞き入り、会員との赤とんぼの合唱、そして締めハレルヤコーラスでは女学院時代を懐かしみました。2013年度はS55年卒5名の代行により、10月25日(金)に総会を準備しております。他支部の方々のご参加も大歓迎です。

熊本支部

大石 陽子(S50年音卒)



11月3日(土)には福岡女学院同窓会熊本支部会に、ご多忙のところ山下副会長様、東

村様、藤井様にお運びいただきまして、誠にありがとうございますました。学院のみなさまや同窓会役員の方々のきめ細かいご支援を頂き、今年も無事に支部の集いをもつことができましたことを、支部会員一同深く感謝申し上げます。

徳永先生がお久しぶりに熊本支部会にいらしてくださることになりまして、開催に大きな喜びと期待が生まれましたことも、ありがたいことでございました。参加者が大幅に減ったことは残念でございましたが、予想通り(!)盛り上がりしました。

毎年、薬院の学び舎をご存じの大先輩方がこの会を楽しみにしてくださっていることは大きな励みでもあります。前回よりぐんとお元気になられた元支部長の森崎様はじめ、ご欠席者にも昨年から高齢者施設・ケアマンション等、新たなお住まいを見つけたとのご報告がありました。時代の移ろい、社会の進歩等により、新しい形の生活が身近になったことも感じました。今回は情報交換の場にもなったようです。

少子化の波をもろに受ける私学の厳しさも伺い、常識としては知っていても、各人が母校への思いを新たにしたことでしょう。

支部といたしましては日佐キャンパスで過ごした参加者を増やしていく必要性をますます感じる日ともなりました。

来年、お一人でも多くの葡萄が集い、語らえますよう願ってやみません。また、私たち一粒一粒の小さな存在や活動によって醸し出されるものが、学院の素晴らしさを少しでもアピールできるものになればどんなに幸せなことでしょう。今後とも、何卒よろしくお見守りとご指導をお願い申し上げます。

大分支部

安浪 敬子 (S41年高卒)

第8回大分支部総会は11月7日(水)に大分オアシスタワーホテルの20Fで開催いたしました。

学院より松原理事長・木ノ脇院長・二田中学校長をお迎えし、同窓会より伊藤さん・泉田さん・時政さん又北九州支部より2名の方が参加して下さい、総勢22名でにぎやかに楽しいひとときを過ごすことができました。

当日は天候にもめぐまれ窓から大分市がよく見え皆さんに喜んでいただきました。

次回も又11月初旬に総会を開く予定にしておりますので、どうぞ多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。



鹿児島支部

蓮尾 悦子 (S36年高卒)

鹿児島支部総会は10月11日に開きました。当日は秋晴れのすばらしいお天気の中、女学院同窓会から6名の皆様をお迎えしての会でした。

前回、役員の都合上、開催出来なかったことと例年11月に開いておりました会を今回は10月に開きましたことで少人数の集まりとなりました。

第1部は礼拝を守りました。讃美歌を歌い例年通り木ノ脇先生に聖書のメッセージをいただきました。学生時代に戻ってしゃかりき言葉に耳を傾けました。

第2部の懇親会では各々の先生方に女学院の近況を伺い、日佐の地に移って50年の女学院の歴史を思い浮かべました。少人数故にいろんな質問が出たり、卒業生には見えていなかったいろんな話を話されたりと非常に有意義で楽しいひとときを過ごしました。話に花が咲いて同窓生の近況報告をする時間もなく閉会となりました。

楽しいひとときを皆様のご協力のもとで過ごせたことを感謝致します。

役員の都合上しばらく休会の危機にあったのですが菅原愛子さん(S52年短卒)が次の支部長を引き受けて下さることになりました。6年もの間至らないところが多々ありましたのに支えて下さいました皆さんどうもありがとうございました。この場をお借りしまして感謝致します。

新支部長のもとよりよい発展が出来ますよう今迄同様皆様のご協力をよろしくお願い致します。



中部支部

平田 輝子 (S51年音卒)

10月18日(木)マリオアソシアホテル18F「梨杏」にて中部支部の集いを致しました。

二年ぶりの開催なので中部支部会員のみにて昼食会…と考えておりました所、学院から松原理事長、二田校長、同窓会からは栗山会長、山下副会長、事務局藤井様ご参加下さり、14名での楽しく賑やかな集いとなりました。遠く名古屋までお出かけ下さりありがとうございました。

昭和26年卒～昭和62年卒まで幅広い年代が集まりました。

松原理事長より学院の現状を伺い、特に看護大学の初の卒業生の国家試験合格率100%というご報告に、感嘆の声が上がりました。

また今回は音楽科の卒業生が多かったのですが、二田校長の「来年は音楽科創立50周年」とのお話に、月日の流れの早さを改めて感じました。

年代はバラバラでも、そこは同窓生!子どもの進学から老々介護、また参加できなかった支部会員の動向など、色々なお話をすることができました。赤ちゃんとご参加下さった方もいらして嬉しい限りでした。

今後、毎年必ず支部会を開きたいと思えます。ご欠席だった中部支部会員の皆様、次回は是非ご参加下さい。お待ちしております。



長崎支部

水田 庸子 (S42年高卒・S44年短卒)

10月20日、長崎駅に隣接したホテルの最上階にある中国料理桃林に於いて支部会を開きました。二田校長を迎え本部あわせて

20名出席でした。皆で讃美歌「昔主イエスのまきたまいし」を歌って途中から見事な二部合唱のハーモニーになり感激しました。

以前の支部長も揃い、昭和42年当時、長崎県下に50余名。同窓生の有志の呼びかけで支部が結成され今日に至っている事を報告しました。現在600名を超えました。美味しい食事後、娘さんが女学院を卒業されている小浜温泉の名物女将の草野有美子さんのミニ講演で、元気いっぱい地域興しの話や思いやりの心を学ぶ事が出来ました。今後の支部のあり方に悩みも多いですが久々に出席された方もあり嬉しい、懐かしい時を共有できた支部会となりました。



筑後南支部

安藤 恭子 (S48年高卒)

11月6日松原理事長と二田校長を囲んでの支部総会を行いました。本当に楽しい時間を過ごすことが出来ました。先生方と参加して下さった方々に感謝の気持ちで一杯です。

今回も緊張しながら、会場の戸を開けた私でしたが、一歩中に入ると、皆様の笑顔と、優しい言葉に、心が一度に和み、福岡女学院の一員としてつながらせていただく事の喜びを感じることが出来ました。

無事に礼拝が終り、最初に、松原理事長のお話を拝聴しました。私達にも解りやすく学院の現在の状況などお話し下さり、お忙しい中、大牟田まで来ていただきありがとうございます。あらためて、福女の一員として友達に学院の良さを伝えなければと思いました。次に二田校長のお話がありました。お話しには、力強さがあり、初めてお話を拝聴したのに、一度で、信頼できる方だと思い、嬉しくなりました。その後、一人ずつ近況報告。又学院時代の思い出や、共通の先生の話しで、盛り上がりました。私の同期の方が、北九州から参加してくれたり、前回参加出来なかった方が来て下さったりとメンバーも増えて嬉しく思いました。

何時間か前までは知らない同志がお互いの情報を交換し合うことで、つながりが持てる、そして信頼が生れる。このことは、同窓会の良い所ではないかと思いました。是非お気軽に参加して下さい。



福岡女学院同窓会

2013年度 関東支部総会のご案内



日時 2013年10月25日(金)

11:00～14:30

場所 ハイアットリージェンシー東京(新宿)
地下1階「桃山」

会費 7,000円+1,000円(支部会費)

ゲスト
演奏

Piano 平田千代子さん (H13年音卒)

Violin 梶原 圭恵さん (H13年音卒)

Vocal 廣瀬 史佳さん (H13年音卒)

関東支部HP <http://fukujo-og-kanto.tokyo-hp.com/>

当番学年代行 S55年高卒有志

●どの支部会にも参加できますので、同窓会事務局にお尋ね下さい●

卒業生紹介

吉川 茉理奈さん

(H22年大卒)

2008年、社団法人日本善行会から、吉川さんと友人(同大学)のタバサムの活動に対し、国際貢献賞が授与されました。吉川さんの活動は、タバサムのブログで(URL <http://ameblo.jp/tabasamu/>)紹介されています。

大

学を卒業して2年が過ぎ、私は今アフリカのケニア共和国にいます。ケニアは貧しい国ではなく、貧富の差が激しい国です。アフリカと聞いて頭に浮かぶような大多数の「貧」の世界と、日本と変わりない少数の「富」の世界が共存しています。そして貧しい家庭に生まれた子どもたちの中には、十分に教育を受けられない子もいます。いったいどうすればそのような子どもたちが教育を受けられることができるのか。そのために私は何ができるのか。これが私の大きな課題です。

2005年の大学1年時にケニア研修に参加して以来、貧しくとも明るい人々や人間性に溢れた生活、雄大な自然、多様な文化に魅了されて何度も足を運び、沢山の出会いがありました。中でも長年に渡りケニア研修を実施されている齊藤皓彦先生、マトマイニチルドレンホーム院長の菊本照子さんとその子どもたちとの出会



マトマイニから見た朝焼け



マトマイニの子どもと

課題の答えを見つけました。それは物作りに励む人たちと日本を繋いで、彼らの収入の機会を増やすことです。そこで在学中に友人とtabasamu za watoto(タバサムザワトト、スワヒリ語で子どもたちの笑顔)というグループを作りました。ケニアに行く度に手作り品を持ち帰り、葡萄祭などで販売しては利益をマトマイニチルドレンズホームへ寄付するという活動を始めました。

卒業後は社会人として働いていましたが、会社を辞めてまでも一度ケニアに行くことを選んだのは、見出した答えに強い使命感を感じたからだと思います。先日の出来事ですが、物作りをしている方に「この仕事は好きですか。」と尋ねたところ「もちろん大好き。家族が養えるから。子どもたちを学校に通わせられるから。」と満面の笑みで答えが返って来ました。この瞬間、私の中にあった様々な不安が吹き飛び、この活動を本格的に始めようという決心しました。子どもたちが教育を受けるために私が出来ることが、人々が今日の数百円を真っ当に稼ぐために作った可愛い物と日本を繋ぐことです。今は手探り状態ですが、たとえ細くとも長く続けることを目標に少しずつ進んでいきます。

最後に、このような素晴らしい出会いに導いてくださった福岡女学院大学の先生方、職員の皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございます。

地

元福岡で、私は筑前琵琶の演奏活動をしています。伝統を守りながらも今を生きる琵琶に取り組むため、言葉を選び音を追及しています。

在学中に校内の文化祭で私の琵琶の音に合わせて舞台の上をクルクルと回り踊る友人を横目で見たとき、これが現在に至る私のコラボレーションの始まりでした。それぞれが研鑽を積んだ技術を持ち寄り何処にもない融合で見たこともない舞台を創るという夢はアラフォーと呼ばれる頃になってようやく実現し始めました。

博多発祥の筑前琵琶の生演奏を皆様にお届けし日本を感じて頂きたいと思っています。天神サテライト講座やグレイプガーデンでも演奏の機会を頂き、初めてお会いする同窓生の皆様との貴重な交流をさせて頂けることは、何よりの喜びだと感じております。



筑前琵琶演奏家

寺田 蝶美さん(旧姓/飯田真由子)

(H1年高卒)

私

は、2008年に新設された福岡女学院看護大学の一期生として入学し、大学生活では仲間とともに、看護師・保健師の資格取得の為に日々勉強や実習に取り組み、本当に沢



九州大学病院集中治療部・救命救急センター救命ICU

恵藤 都花さん
(H24年看卒)

山の思い出を作る事が出来ました。そして2012年の3月に看護師国家試験に全員で合格する事が出来、無事に卒業式を迎え、このたび、福岡女学院の同窓生となれたことをとても嬉しく思っております。

私が勤務する救命救急センターの救命ICUでは、救急外来や地域病院から重体となった患者さんが運ばれてきます。意識が無く重症度の高い患者さんを看護することがほとんどですが、医師や看護師が協力して24時間治療やケアを行っています。生命に関わる機会も多く、毎日緊張感をもって働いています。

そのような環境の中でも、意識が無かった患者さんが、回復するにつれてお話しできるようになったり、きつい状態

のなかでも看護ケアを実施することで、笑顔が見られたり、「ありがとう」と言葉をかけて頂いたりすることがとても励みになります。今まで「一番嬉しかった出来事は、意識の無かった患者さんが、少しずつ回復しICUから病棟へと移られた後、元気な姿で歩いてICUまで挨拶に来てくださった事です。患者さんの状態が刻一刻と変化するので、緊張する場面も沢山ありますが、少しの良き変化がとても嬉しく、救命ICUに勤務出来て良かったと思う瞬間です。

このような毎日の中で、福岡女学院看護大学で学んだ沢山の知識を活かし、看護の心を大切にしながら、患者さんやご家族の心に寄り添い歩んでいきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



今年、福岡女学院主催の「音楽科創立50周年記念演奏会」、音楽科卒業生会では、夏頃に総会を開催予定です。皆様お誘い合わせの上、ご参加、ご来場下さい。お待ちしております。

今回は、福岡女学院主催の「音楽科創立50周年記念演奏会」、音楽科卒業生会では、夏頃に総会を開催予定です。皆様お誘い合わせの上、ご参加、ご来場下さい。お待ちしております。

学校の頃ブラジル日系二世の友人がいたことから、異文化に興味を持ち、彼女の生まれ育ったコミュニティーを覗いてみたいと思うようになりました。福岡女学院中高

神戸市外国語大学国際交流センター
常勤講師日本語プログラム コーディネーター

柴田 あづささん
(H6年高卒・H11年大卒)



小郡キャンパスにて(写真左:柴田あづささん)

卒業後は九州大学の大学院へ進学し日系の年少学習者に対する演劇を通じた日本語教授法の開発に取り組みしました。大学院

卒業後、新設間もない大学院大学小郡キャンパスで4年間学びました。在学中に1年間サンパウロで日本語を教える機会を得、そこでの刺激的な経験から日本語教師を目指しました。



昨年秋に授業で行なった神戸弁演劇「アラジンと魔法のランプ」の講演後の記念写真

修了後は福岡女学院高校や女学院大学及び佐賀大学等で世界各国からの留学生に日本語を教え始め、2011年4月より現在の職場にいます。神戸に来てからは日本人大学生からの協力を得て、留学生の神戸弁演劇の活動や、これを通じた学内の国際交流の促進に力を入れていきます。女学院で培った知識と自由な感性、そして強さは今も私の生きる上での大切な礎になっています。



音楽科卒業生会

音楽科卒業生会書記

長友 夢華 (H12年看卒)

音楽科卒業生会は、2012年7月6日(金)、あいれふホールにて福岡女学院高等学校音楽科卒業生演奏会を開催いたしました。各地より参加の卒業生5組による、ピアノ独奏はJ.S.BachからLiszt・Ravel・John Cageまでソプラノ独唱はPucciniのアリアなど多彩なプログラムとなり、盛会の中終演しました。この演奏会を通じて学院・卒業生同士を繋ぐ架け橋となればと考えております。また、8月16日(木)ソラリア西鉄ホテルにて第15回総会及び懇親会を開催いたしました。

今回も和やかに交流を深めることが出来、有意義なひと時でした。

静淑庵について

野田 美喜子（S63年高卒）

私たちが中学2年の時に、とても美しいお茶室が出来上がりました。

高校に茶道部があるのは知っていましたが、その時は中学にはなく、どうしてもその美しいお茶室が羨ましくて仕方ありませんでした。

職員室にどうしたらいいのかを聞きに行き、中学茶道部を創部させてもらうことになったのです。

先生方にたくさん相談のついでにいただきました。高校茶道部の先輩方や講師としてお願いしていた深山先生の協力のもと、中学茶道部が始まったのです。

お茶のことなど、何ひとつ知らず、右も左もわからない私たちに、少しずつ丁寧に教えて下さり、一生懸命私たちが吸収しようとしたものです。

礼節やおもてなしの心、決められた作法に理由があることなど、茶道に



携わることがなければ知ることもないことも多かったと思います。

忘れられない思い出は、お茶室に入る時には必ずきれいな靴下を持参することでした。若い頃には多少わずらわしいと思うこともありましたが、今でも通じるマナーを学べたことに、大人になった今は感謝の気持ちでいっぱいです。

このような思いも、あの美しい静淑庵が私たちの目の前になれば、できないものだったかと思うと、感慨深いものがあります。

その美しいお茶室を寄贈して下さった小野田先生の計報を先日お聞きしました。私自身は直接には存じ上げない先生でしたが、静淑庵を通して、関わりの深い先生でした。

小野田先生、ありがとうございます。どうぞ安らかに眠り下さい。



創作舞踊クラブ

高木 貴子（H3年短卒）



2011年「OG会設立30周年記念のつどい」が盛大に催されました

創作舞踊クラブは、1964年短期大学開設と同時に誕生し、今年で49年目を迎えます。私はその26期生です。1980年代後半、日本がバブル景気に沸いていたあの頃、クラスメイトが華やかなキャンパスライフを謳歌する姿を横目に見ながら、私たちは黒いレオタードに身を包み、情熱溢れる故・山崎豊子先生の指導のもと、部活に没頭する日々を過ごしました。

当時は短大2学年合わせて50名を超える大所帯で、体育館2階の第2フロアーには入りきれず、廊下や卓球場で練習することもありました。放課後の練習に加え、春休みや夏休みの向山寮合宿、発表会、仲間たちと一つの目標に向かってひたむきに取り組んだ日々。その時の経験や思い出は、私自身の一部となり今も私を支えてくれています。

本当に幸せなことに、創作舞踊クラブには卒業生が帰れる場所、「心のふるさと」ともいえるべきOG会があります。毎年夏に総会が行われ100名を超える卒業生やその家族が思い出のキャンパスに集います。学生時代に戻り、第2フロアーで身体を動かした後、懇親会で友人と近況を報告し合います。そこには現役生も参加し、年代を超えた交流が盛んに行われています。私にとってOG会は、あの頃の純粹さやひたむきさを思い起こさせてくれ、自分を原点に引き戻してくれるような存在になっています。

来年、創作舞踊クラブは創設50周年を迎えます。創作舞踊クラブが今後若い学生たちに受け継がれ、発展していくことを心より願っています。



卒業50年記念 卒業式に参列して

S 36年高卒 三戸 朝子（旧姓／東野）



女学院を卒業して早や50年、私達は2012年3月1日、高校卒業式に参列させて頂きました。思えば私共は学院が日佐に移って最初の卒業生です。懐かしいギール記念講堂でパイオルガンの繊細な響きとともに式は厳かに行われました。卒業生が卒業証書を手にして、私達と保護者の方々に深々と一礼してくれた姿に感動を覚えました。この生徒達が今後、神様の祝福を受けて女学院で育くんだ賜物をいつまでも人生の生きる力として歩んで行つて欲しいと思いました。

卒業式の後、同窓会館で心のもったおもてなしに移り、同窓会長はじめ、役員の皆様が用意して下さった品々、一つひとつに心が配られ豊かなめぐみを頂きながら、久しぶりの友とも話が弾みました。楽しいランチの後に、私達は、古稀の記念旅行、指宿へと新幹線に向かいました。

委員の方々のお世話が行き届き、泊旅行の何とたのしかった事でしよう。宮城から永野宣子さんが参加されました。この一年のご苦労は大変だっただけの様子でした。

同じ学舎で過ごした友々、母校のご発展を祈りつつ、同窓会の役員の皆様に心から感謝を申し上げます。

Grape Garden

グレープ・ガーデンとは？

2010年6月、栗山同窓会会長の発案により教養講座「グレープ・ガーデン」(天神サテライトで午後1時から1時間程度)が始まりました。同窓生の皆様とのコミュニケーションの場を便利な天神で持とうと誕生致しました。この小さな講演会も、6月で3年(16回)を迎えます。ゲストスピーカは現在のところ皆様に選んで頂いた同窓生が中心です。

そのご活躍の様子や心温まるエピソード、為になるお話やヒント等を毎回楽しく伺った後、有志の方々と和やかなティーパーティー(1時間程度)で過ごします。未経験の皆様も、是非一度ゆったりとした時間を一緒にいかがでしょうか。

● 今までの講座

- 第1回 福岡女学院の125年史 (福岡女学院名誉院長) 徳永 徹
- 第2回 福岡女学院を支えた宣教師たち (福岡女学院大学名誉教授) 板倉武子
- 第3回 お菓子ところ (㈱石村萬盛堂取締役) 石村一枝 (S42年高卒 / S44年短卒)
- 第4回 こどもの健やかな成長を願って (元福岡女学院大学教授) 牛島達郎
- 第5回 ことばと心 (大野城まどかぴあ女性センター長・元RKB毎日放送アナウンサー) 林田スマ (S43年短卒)
- 第6回 心と体を作るお弁当 (フードディレクター・TNCもち浜ストア(月)出演中) 濱地佳世子 (S53年高卒)
- 第7回 高麗屋の女房として (九代目松本幸四郎夫人) 藤間紀子 (S39年高卒)
- 第8回 映画はやっぱり面白い (元RKB毎日放送アナウンサー) 古山和子 (S36年高卒)
- 第9回 にこにこベースの健康づくり (福岡大学スポーツ科学部教授) 田中宏暁
- 第10回 筑前琵琶の世界 (筑前琵琶演奏者) 寺田蝶美 (H1年高卒)
- 第11回 カラーセラピー (カラーコーディネーター) 野田幸子 (S54年高卒)
- 第12回 ラ・マンチャの男講演会と観劇のお誘い (東宝・演出スーパーバイザー) 宮崎紀夫
- 第13回 古楽への招待 (18世紀音楽祭協会事務局) 前田明子 (S37年高卒)
- 第14回 ファッションメイクで、マイナス5kg・マイナス5才? (ライフスタイリスト) 甲能眞紀子 (S60年高卒 / S62年短卒)
- 第15回 痛みの外来ペインクリニックとは? (桑原整形外科医院 麻酔科医師) 福元智子 (H6年高卒)

Next Grape Garden

第16回

チェンバロコンサート

～福岡女学院高等学校音楽科開設50周年を記念して～

[チェンバロ奏者] 山本 香代子 (S61年音卒)

日時 2013年6月22日(土)

- コンサート 午後1時～2時
- ティーパーティー 午後2時～3時

会場 赤坂ソフィアビル5階

福岡市中央区大名2-12-9
(地下鉄赤坂駅3番出口前、西鉄バス停下車2分)

お申込先 福岡女学院天神サテライト
TEL 092-715-2718
FAX 092-715-2719
E-mail tenjin@fukujo.ac.jp

席数に限りがありますので、事前のお申込みをお願いします。

お話を伺いたいテーマや講師のご推薦は、同窓会グレープ・ガーデン宛にご連絡をお願いいたします。
グレープ・ガーデンは福岡女学院と同窓会の共催事業です。

学院 INFORMATION



福岡女学院高等学校音楽科開設50周年記念演奏会

福岡女学院高等学校
音楽科

- 日時** 2013年10月4日(金) 開演/19時(予定) **会場** アクロス福岡シンフォニーホール
- プログラム(予定)** ハンドベル演奏、ピアノ8手連弾、合唱、アンサンブル他
- 出演** 中高ハンドベルクワイア、高校音楽科生、音楽科卒業生
- 入場料** 1,000円(5月発売予定) お願い:当日のプログラムに広告掲載をお願いしております。是非ご協力をお願いいたします。

高校音楽科は1963年(昭和38年)に開設され、今年開設50周年を迎えることとなりました。開設当初より多くの皆様に関わっていただき、数え切れないご協力とお祈りに支えられた半世紀であったことを、心より感謝いたします。

現在卒業生は1,000名を超え、多くの卒業生が、音楽の発信者として国内外のそれぞれの場所で活躍しておられます。また、在校生も先輩たちに倣い、表現者を目指して学びを続けております。このたび50周年を記念し数年前から企画して参りました演奏会を、音楽科卒業生会のご協力のもと下記のように開催する運びとなりました。これまでのご支援に感謝を込め、卒業生と在校生が協力をして、喜んでいただける演奏会にしたいと考えています。

広く中学、高校を知っていただく場にもしたいと考えています。ご多用とは存じますが、卒業生の皆様には是非ご支援、ご協力をお願いいたします。なお、この紙面にありますように「50周年記念ロゴマーク」を作成致しましたので、チラシ等をお作りになる機会がありましたら是非どこかに掲載して宣伝をお願い致します。中高入試広報室(575-2470)までお問い合わせください。

チラシ等のご案内は5月に始める予定です。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

実行委員長 中高校長 二田真知子

福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部

2013年人文学部に
2つの学科
誕生!

“表現力”から“発信力”へ
表現学科が2つの学科に
進化します。

新設学科

- **言語芸術学科**
百読百鑑と多分野横断型の学際的教育を通して、普遍的な教養の地力を鍛え、発信力を養います。
- **メディア・コミュニケーション学科**
メディアの諸相を学び、人と人との新たなつながりをつくりだす力を養います。

お問い合わせ先/福岡女学院大学入試課 TEL.092-575-2970

ささえ、育み、未来につなぐ

福岡女学院看護大学

- **1期生(2012年3月卒業)**
看護師国家試験

合格率 **100%**就職率 **100%**

- **2期生(2013年3月卒業予定)**

就職内定率 **100%**国立病院機構系に48名
九州大学病院に15名など高度な医療を提供している病院へ
羽ばたいていきます

看護学部看護学科 学長 西間 三馨(国立病院機構福岡病院名誉院長)

〒811-3113 福岡県古賀市千鳥1-1-7 tel.092(943)4174

(連携先の国立病院機構福岡東医療センターに隣接)

福岡女学院中学校・高等学校



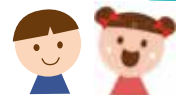
2013年度の取り組み

- ① **生徒・保護者の満足度200%を目指します。**
生徒一人ひとりの希望に応え、期待以上に伸ばします!
- ② **国際化に対応する「グローバルクラス(仮称)」設置準備中。**
2014年度の開設を目指して、1クラス約30名で国内外から生徒を募集します。長・中・短期留学が可能。海外の大学への進学も視野に入れて指導します。
- ③ **学力のさらなる向上と保障**
全額支給の奨学金制度を導入

〒811-1313 福岡市南区曰佐3-42-1 tel:092-575-2470

福岡女学院幼稚園

ミッションメイト入会のおさそい



2013年ミッションメイト会員の登録を受付けています。
お知り合いの方で福岡女学院幼稚園に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ご紹介ください。

会員の方へは**園庭開放**など、本園の子育て支援情報を掲載した「こそだての森」と「ミッションメイトだより」を毎月お送りします。

会 期 2013年1月～12月

対 象 未就園児(0歳～4歳)とその保護者
(あかちゃん～2010年4月2日生まれの未就園児)

会 費 無 料

ご希望の方は福岡女学院幼稚園までお電話ください
TEL.092-575-2472



「ぶどうの木募金」のお礼とご報告

理事長 松原 安宏

2011年12月に開始しました「ぶどうの木募金」は、お陰様で総計約2,000万円となりました(2012年12月末現在)。今年度も多くの同窓生より、寄付金と共に温かい励ましのお言葉や心温まる想い出をお寄せいただきました。心より感謝申し上げます。2012年度の詳細につきましては、2013年10月発行予定の時報「MISSION」で報告させていただきます。引き続き、本募金へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

同窓生の皆様、キャンパスに遊びにいらっしゃいませんか？

福岡女学院は、女学院ファミリーである同窓生の皆様との“つながり・絆”を、大切にしていきたいと考えております。同窓生の皆様楽しんでご参加いただける学院イベントや学校行事を折々にご案内して参りますので、お気軽に足をお運びください。同窓生のお越しを心よりお待ちしております。

その他、「懐かしい施設を見学したい」、「当時の資料を見てみたい」など、ご希望がございましたら、校友課(092-575-2949直通)までご相談ください。校友課が窓口となり、同窓会や学内の各部署と連携をとりながら、出来る限り、皆様のご希望に添えるよう努めてまいります。

5月18日(土) 創立記念日

(詳細は同封のご案内をご覧ください)

記念式典、メイボール・メイクイン、バザー、音楽祝会
今年度は午後から講堂で創立記念音楽祝会を開催します。園児、生徒、学生、教職員、同窓生がひとつになって、歌や演奏で創立記念日をお祝いします。

学 祭 中高・大学・看護大学

例年、中高は9月、大学は10月、看護大学は11月に開催されています。詳細が決まりましたら、改めてお知らせいたします。

クリスマス礼拝 中高・大学・看護大学

12月、厳かな雰囲気の中でクリスマス礼拝が行われます。学生時代に戻って、参加してみられませんか？詳細が決まりましたら、改めてお知らせいたします。

日本学生支援機構(旧日本育英会)奨学金返還ご確認のお願い

在学中に奨学金の貸与を受けた卒業生の皆様、何かの手違いで返還が滞ってはいないでしょうか？日本学生支援機構から女学院卒業生の奨学金返還滞滞者が他よりも高いことが指摘されています。このまま悪い状況が続けば、同機構から女学院に割り当てられる奨学金枠の減少につながるのではないかと心配しています。また、滞滞者が多い大学名の公表も検討されているようです。どうぞもう一度、奨学金の返還についてご確認ください。万一、何らかの事由で返還が困難な場合には、返還猶予などの手続きを取ることが出来ます。日本学生支援機構にご相談ください。

奨学金返還相談センター：0570-03-7240(ナビダイヤル・全国共通)

福岡女学院「時報」Mission 110号(次号)の発行時期について

今年は2013年の同窓会会報「ぶどう」の発行が春になったことに伴い、学院の広報誌「時報」Missionを例年の5月1日発行から、2013年10月1日付で発行し、秋に発送することになりました。

同 窓 会 本 部

会 長 栗山 昌子 (S30年高卒)

会 員 後藤 好子 (S54年高卒・S56年短卒)

副会長 鶴 英子 (S38年高卒)

泉田 裕子 (S52年高卒)

園田 浩子 (S39年高卒)

水野 朋子 (S56年高卒・S58年短卒)

山下 偕子 (S55年高卒)

広 報 永田 直美 (S40年高卒・S42年短卒)

監 査 東村 嘉子 (S47年高卒・S49年短卒)

井上 時世 (S37年高卒)

松島 純子 (S47年高卒)

末吉 恵子 (S60年音卒)

宗田 奈穂子 (S63年高卒・H3年短卒)

書 記 伊藤 和子 (S46年高卒)

財 務 吉田美智代 (S39年高卒)

永田 典子 (S59年高卒・S61年短卒)

進藤 芳子 (S42年高卒)

総 務 黒瀬嘉代子 (S55年高卒)

事務局 白木美恵子 (S56年高卒・S58年短卒)

境 紀子 (S51年高卒)

時政 洋子 (S54年高卒)

元山 香織 (S59年高卒・S61年短卒)

藤井 美穂 (S58年音卒)

同 窓 会 活 動

- ① 同窓会総会
- ② 支部長会
- ③ 支部総会
- ④ 創立記念日のホームカミング&バザー
- ⑤ 卒後50年目の卒業生を高校卒業式へご招待
- ⑥ 文化祭・講演会他、学院行事への協力
- ⑦ 会報「ぶどう」発行
- ⑧ 85歳以上の会員へのクリスマスカード発送
- ⑨ 役員会
- ⑩ 同窓会開催への支援
- ⑪ ホームページ管理
- ⑫ 会員情報データ管理

福岡女学院天神サテライト開設10周年特別市民講座

「岡部まりさんからの提言」

く不安多き時代に、よりステキな自分らしいライフスタイルをく



Profile

岡部まり氏プロフィール

長崎県生まれ。福岡女学院短期大学英文科卒業。在学中からモデル、ラジオのDJを始める。現在、ラジオ大阪「マリカフェ」発信中、産経新聞夕刊コラム(近畿版)「岡部まりのほほえみ小箱」。著書「お気に召すま」「岡部まりシンプルライフ」他。

エッセイストとして、またTVやラジオ番組で活躍されている岡部まりさん(S55年短卒)の講座が、2012年12月22日天神サテライトにて行われました。

講座では、長崎で過ごされた幼少期のお話、ご家族のこと、女学院短大へ進学されたいきさつ、カンナ寮やドルカスホールでの思い出などを語られました。

また、ラジオ番組「出光エナジーボックス」や21年間秘書役を務められた「探偵!ナイトスクープ」(朝日放送)ご出演のきっかけや、番組の楽しいエピソードなどお話しされました。岡部さんは、「現

在の自分があるのも女学院での学びがもたらした『縁(えにし)』のなせるもの」と、折に触れひとつひとつの『縁』をとっても大切にされているそうです。「女学院にとって縁の深い天神の地に開設された天神サテライトで講座を持てることにも、『縁』を感じます。」と嬉しそうに話されました。講座終了後には、受講生一人一人に挨拶をされ、笑顔で見送ってくださいました。そのようなお気遣いも『縁』を大切にされる岡部さんだからでしょう。とても素敵なライフスタイルに触れることができたひとときでした。

Dorcas Hall

さようならドルカス・ホール
ありがとうドルカス・ホール

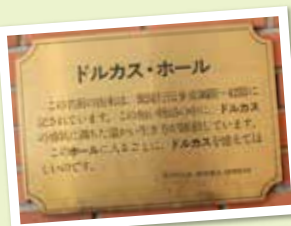
学院では、キャンパスマスタープランにおける新棟建築が着々と進んでいます。現在Ⅰ期工事が終了し、本部の引越しが完了しました。今後、ドルカス・ホールを含む、本部棟は解体され、第Ⅱ期工事が始まります。

ドルカス・ホールは1976年に短大の学生控室として誕生し、長い間、学生の憩いの場所として親しまれてきました。2001年にはカフェテリアに改修され、焼きたてのパンや美味しいパスタ、デザート等が提供されるようになりました。

現在でも学生の人気スポットですが、同窓生にとっても、空き時間に友達とおしゃべりしたり、勉強したりと様々な思い出と共に、印象に残っている施設ではないでしょうか。

ドルカス・ホールは、この春、37年間の役目を終え、建物は無くなってしまいますが、その姿はいつまでも皆様の思い出の中に残っていくことでしょう。

現在のドルカス・ホール▼



▲ドルカス・ホールプレート

1976(昭和51)年
ドルカス・ホール▶

学院資料室より

現在建築中の新棟に学院紹介スペースや資料室が設けられます。学院に関する過去の記録や資料(写真のみでも歓迎)を収集しております。同窓生の皆さまで「福岡女学院」の貴重な資料をお持ちの方がいらっしゃいましたら、お知らせください。ご協力をお願いいたします。



上の写真は
故・田(旧姓/松尾)福子さん
(S11年女卒)

下の写真は
山下(旧姓/松尾)日出子さん
(S25年高卒)よりお借りしました。



メイボールの下で。(中間服?)▶

Bazaar バザー報告

学院や同窓会のイベントの際に
ミッショングッズの販売やバザー
を行っています。



◀ 創立記念日には、同窓生にも
出店していただきました。



看護大「Nursing Festa」にて▶
大学「葡萄祭」、看護大「Nursing
Festa」では同窓会活動を紹介
するパネル展示も行いました。

2012年のバザー

- 2012.03.01 卒後50年ご招待
- 2012.05.17 同窓会総会(日航福岡ホテル)
- 2012.05.18 創立記念日・
同窓会ホームカミングデー
- 2012.09.08 中大学院祭
- 2012.10.26、27 大学「葡萄祭」
- 2012.11.10 看護大「Nursing Festa」
- 9月～11月 各支部総会(10支部)
- 2012.12.23 メサイアコンサート(アクロス)

※売上金は「東日本大震災」他義援金といたします。

🍇 サポーター募集! 🍇

同窓会では上記のようなバザー、会報発行等さまざまな活動を行っています。

このたび、同窓会の活動のお手伝いをしてくださる「**サポーター**」を募集することにいたしました。

女学校、中高、短大、大学、大学院、看護大すべてのグレード卒業の方が対象です。

1日だけでも、遠方の方でもOKです。

ご自分にあった同窓会や学院へのサポートの方法があると思いますので、まずはご登録をお願いします。

サポーターとしてご登録いただける方は、同窓会事務局(TEL&FAX 092-575-2479)までご連絡ください。

ぶどうの木の一枝として、福岡女学院に連なる皆さまのご協力をお願いいたします。



Fukuoka Jo Gakuin Alumnae Association

Mission Goods

ミッショングッズのお知らせ

同窓会では様々なオリジナルグッズを取り扱っています。
同窓会事務局、または学院の
イベントや各支部総会の際
にも販売しておりますので、
どうぞお求めください。



会計報告

■ 会費会計／収入の部

入会金	2,439,000 円
会費	20,628,000 円
合計	23,067,000 円

2011年度運営会計決算

■ 運営会計／収入の部

(単位：円)

	2011年度予算	2011年度決算	予算比	備考
会費会計より	15,494,567	15,494,567	0	
受取利息	0	4,256	4,256	
雑収入	0	13,308	13,308	名簿・ラベルシール代 他
イベント収入	1,500,000	1,176,000	▲324,000	総会費
前期より繰越	3,955,433	3,955,433	0	
合計	20,950,000	20,643,564	306,436	

■ 運営会計／支出の部

(単位：円)

	2011年度予算	2011年度決算	予算比	備考
総会費	2,300,000	1,979,940	320,060	総会費
記念品費	600,000	610,680	▲10,680	同窓会入会記念品代
支部関連費	1,800,000	1,522,619	277,381	支部支援金、支部総会費 他
支援金(学院・会員)	3,800,000	3,726,900	73,100	学院奨学金、大学・看護大学 友会・中高生徒会支援金 他
活動費	710,000	649,072	60,928	バザー費、教養講座グループ・ ガーデン 他
広報費	4,600,000	4,341,300	258,700	会報「ぶどう」発行費 他
会員活動費	270,000	271,978	▲1,978	ホームカミング・卒後50年招待費 他
会議費	160,000	173,336	▲13,336	お茶代、オリエンテーション費 他
給与費	4,000,000	3,723,521	276,479	事務局員 3 名分
コンピュータ費	650,000	611,626	38,374	会員管理料、ホームページ管理料 他
旅費・交通費	330,000	349,000	▲19,000	役員交通費 他
通信費	330,000	221,734	108,266	電話・郵便代 他
雑費	400,000	380,572	19,428	税理士報酬、役員保険料 他
消耗品費	300,000	197,249	102,751	事務用品代 他
設備・営繕費	150,000	100,000	50,000	中庭ガーデニングメンテナンス料 他
慶弔費	50,000	0	50,000	
予備費	500,000	0	500,000	
合計	20,950,000	18,859,527	2,090,473	
次期繰越	0	1,784,037	▲1,784,037	
合計	20,950,000	20,643,564	306,436	

■ 会費会計／支出の部

運営会計へ 15,494,567 円

2012年度運営会計予算

■ 運営会計／収入の部

(単位：円)

科目	2012年度予算	備考
会費会計より	21,930,963	
受取利息	0	
雑収入	0	
イベント収入	1,500,000	
前期より繰越	1,784,037	
合計	25,215,000	

■ 運営会計／支出の部

(単位：円)

	2012年度予算	備考
総会費	2,300,000	総会費
記念品費	650,000	同窓会入会記念品代
支部関連費	1,700,000	支部支援金、支部総会費 他
支援金(学院・会員)	4,000,000	学院奨学金、大学・看護大学 友会・中高生徒会支援金 他
活動費	1,180,000	バザー費、教養講座グループ・ ガーデン 他
広報費	6,400,000	会報「ぶどう」発行費(臨時号含む) 他
会員活動費	500,000	ホームカミング・卒後50年招待費 他
会議費	285,000	お茶代、オリエンテーション費 他
給与費	4,000,000	事務局員 3 名分
コンピュータ費	800,000	会員管理料、ホームページ管理料 他
旅費・交通費	400,000	役員交通費 他
通信費	1,500,000	電話・郵便代 他
雑費	400,000	税理士報酬、役員保険料 他
消耗品費	200,000	事務用品代 他
設備・営繕費	350,000	中庭ガーデニングメンテナンス料 他
慶弔費	50,000	
予備費	500,000	
合計	25,215,000	

2012年4月16日監査の結果、相違のないことを認めます。(監査部)

財務部より

今年も、同窓会がよりいっそう充実するように運営していきたいと思います。
今後、同窓会の充実・発展のため、会費納入のご協力をお願いいたします。

同窓会へのご寄付ありがとうございました。(五十音順)

今任孝子様、岩永邦歌様、上山和子様、遠藤成子様、大江みち様、
お仕事会様、佐藤寿子様、長岡陽子様、平田輝子様、藤間紀子様、
古川照美様、前田明子様、結城律子様、吉田知世様

[同窓会会費について]

同窓会活動の運営は会員の皆様の会費で成り立っております。今後も同窓会活動の充実・発展のため、会費納入のご協力をお願いいたします。会費の振込は次ページの振込用紙をご利用ください。この振込用紙は**同窓会会費専用**ですので、他のお支払いにはくれぐれもご利用されないようお願いいたします。**同窓会会費は1口1,000円**です。1,000円から何口分でもお支払いいただけます。満期は50口です。会報「ぶどう」の送付の際の宛名ラベルシールの左下に数字が記載されている場合は、会費の満期までの口数となります。何も記載されていない場合は、完納されている方です。

■ 満期までの口数(残)

完納された方にはこの数字が入っていません。

(例) この場合は満期額に対して21口分(21,000円)残っています。
※1,000円から何口分でもお支払いいただけます。

ご不明な点は同窓会事務局までお尋ねください。
(TEL&FAX 092-575-2479)

宛名ラベルシール

〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐3-42-1	
福岡 花子 様	
21	29990013

■ 会員No.

郵便振込口座番号 01790-4-19034 福岡女学院同窓会

ご住所のお届けについて

卒業後の住所のデータ管理は同窓会事務局にて行っております。同窓会へのお届けの住所、氏名等に変更がある場合には必ずご連絡ください。住所変更はホームページからでもできます。

同窓会事務局 TEL&FAX 092-575-2479

ホームページ <http://www2.fukujo.ac.jp/alumnae/> E-mail alumnae@fukujo.ac.jp

ガリラヤ湖のほとり

看護大学宗教主事 金田 俊郎

● 東北ボランティアスタディツアー

看護大学宗教部では、各地の福祉施設等を訪問するツアーを毎夏休みに開催しています。2012年は、学院活性化事業として申請するという看護の先生方のアイディアによって実現の運びとなった東北被災地へのツアーに協力・参加しました。8月4日(土)～10(金)、A班(仙台/石巻)とB班(気仙沼)に別れ、学生20名、教員7名、計27名で行ってきました。

A班は仙台郊外の日本バプテスト連盟吉岡伝道所に宿泊し、毎朝野口直樹牧師による礼拝で一日の活動を始めました。最初は石巻の被災地と復興ふれあい市場を訪問し、その後野口先生と共に支援活動を続ける山崎博加さん(サマリタンズパース)のご紹介により、仙台市若林区の被災家屋の修復作業を3日間手伝いました。津波に浸かつて使用不能になった家屋の二階部分の壁・床を剥がし、床下の泥を掻き出すという作業です。家主さんは町内会長で、ご自分の家屋の修復を地域で最後にされたよ

うです。休憩時間には必ず差し入れ、被災当時の様子などを学生に熱心に話してくださる等、お心遣いに同感動し、作業も苦になりませんでした。

B班は、気仙沼市の面瀬地区仮設住宅で住民の方々の健康支援を継続的に担っておられる黒田裕子先生(日本ホスピス住宅ケア研究会)の指導のもと、仮設住宅の皆さんへの訪問と健康相談、食生活をテーマとした健康教室、子供たちの心のケアなどの活動を行いました。活動の後には必ず、他大学のボランティア学生も交えてミーティングが持たれ、学生たちはこの場で多くの気づきや課題を与えられました。非常に中身が濃く、学生に言わせるとボランティアというより本番の実習に近いほどの学びでした。

ボランティアは、良かれと思ってやっても実際は半分だ、と聞きまして。日常の中で、託された働きを喜びつつ、冷静かつ謙虚に果たしてゆくことの大切さを改めて思われ、今後の看護大の働きのため大切な学びとなりました。

逝去

つつしんで哀悼の意を表し、主による平安をお祈りいたします。

2011.01.25	和田 法子 (品川)	S 17 女	2012.01.31	田中 駒子 (齊田)	S 3 女
2011.09.28	藤井 能子 (谷川)	S 19 女	2011.12.05	高田 綾子 (高田)	S 49 高
2011.10.01	明永 恒子 (明永)	S 19 女	2012.04.03	西頭 玉枝 (後藤)	S 19 女
2011.04.19	田中丸美枝子 (間)	S 45 高	2012.04.03	西村 秋子 (光安)	S 13 女
2009.05.05	副田 キミ子 (吉村)	S 3 女	2012.04.07	松崎 百合子 (松崎)	S 43 高
2011.08.05	村上 泰子 (小畑)	S 9 女	2012.04.07	門上 明子 (足立)	S 60高-S62短
2011.07.15	松尾 清子 (大谷)	S 19 女	2012.03.13	吉川 尚子 (許斐)	S 10 女
2011.10.12	迎 靖子 (吉野)	S 27 高	2012.04.07	福富 茂登子 (福富)	S 32 高
2011.10.21	山村 サチ子 (熊谷)	S 10 女	2012.01.18	上野 百合 (中山)	S 7 女
2011.06	野口 泰 (野口)	S 20 女	2011.12.13	伊藤 ナホミ (小寺)	S18女-S19男
2011.10.10	清原 昭子 (高岡)	S 37 高	2012.04.20	大倉 民子 (的野)	S 35 高
2011.07	佐藤 純子 (豊住)	S 46 短	2012.03.14	大江 みち子 (大江)	S 11 女
2008.12.23	小山 千代子 (野村)	S 5 女	2012.02	小川 弥生 (小川)	H 9 短
2000.00	高橋 恵美子 (渡辺)	S 7 女	2011.10	平田 アイ (秀島)	S 14 専
2011.07.25	水崎 昭子 (熊本)	S 20 女	2011.03.14	秀村 澄子 (古川)	S 14 専
2010.11.04	権藤 貴代子 (安川)	S 7 女	2012.05.23	小野田 よし子 (小野田)	S 11 女
2011.06.13	田代 孝子 (田代)	S 8 女	2011.06.10	城島 はる美 (白水)	S 57 短
2000.01.30	園田 美智子 (小林)	S 27 女	2012.06.25	箕原 幸枝 (大久保)	S 22 女
2000.01.30	園田 真弓 (園田)	H 2 短	2009.01.12	角田 紀久子 (棚橋)	S 22 女
2009.01	井上 真鍋 田鶴子 (井上)	S 14 女	2007.10	矢野 アサカ (河野)	S 36 高
2011.12	太田 恵子 (古川)	S33高-S35男2	2007.10	前田 典子 (前田)	S 36 高
2000.01	渡辺 綾子 (井上)	S 3 女	2012.08.07	久永 良子 (安永)	S 30 高
2012.01.25	田中 美智子 (藤野)	S 30 高	2012.08.20	土田 宏子 (渡辺)	S 36 高
2012.01.13	古賀 あけみ (吉富)	S 42 高	2012.08.30	江崎 節子 (高山)	S 31 高
2011.09.16	須堯 誠子 (武内)	S 44 短	2012.09.13	真柄 由紀子 (真柄)	S 35 高
2012.01	佐藤 洋子 (古野)	S 33 高	2012.09.13	緒代 相代 (松田)	S 28 高
2011.12.21	荒木 稔子 (田中)	S 31 高	2012.07.20	上野 隆子 (鐘川)	S 34 高
2012.02.15	斉藤 照子 (斉藤)	S19女-S20男1	2010.08.04	釜瀬 かおる (釜瀬)	S 45 高
2012.02.16	河原崎 幸子 (光安)	S24高-S20男1	2012.02.03	菊子 (村上)	S 4 女
2012.02.05	高野 嘉子 (難波)	S 18 女	2012.01.2	福田 節子 (幸尾)	S 39 高
2012.03.09	番戸平 尚子 (番戸平)	H 19 大	2012.10.19	久我 明美 (久我)	H 2 短
2012.03.15	伊藤 史子 (伊藤)	S 11 女	2012.10.19	真弓 真弓 (西嶋)	S 43 音
2012.03.22	茂木 節子 (梶栗)	S 38 高	2012.11.15	花田 瑞美子 (松岡)	S 28 高
2006.12.12	瀧口 八重子 (瀧口)	S 16 女	2012.07.20	高木 啓古 (石口)	S 37 高
2010.07.23	石橋 テル子 (井上)	S 20 女	2012.10.31	妹尾 玲子 (山田)	S 19 女
2007.07.02	佐久間 朝美 (佐久間)	S 20 女	2010.04.08	神武 和代子 (神武)	S 12 女
2007.07.02	松尾 久江 (永田)	S 20 女	2012.11.22	中上 嘉子 (伊東)	S 11 女
1954.11.05	藤田 満子 (藤田)	S 20 女	2012.11.25	溝口 アサ重 (湯川)	S7女-S8男1
1996.9	土谷 京子 (山口)	S 20 女	2008.12.02	井手	
2011.01.25	山田 治子 (山田)	S 20 女			

※ () は旧姓です。※届出順です。

お仕事会報告

同窓生の皆様、学院関係の皆様、いつもお仕事会のバザーに協力して下さりありがとうございます。今年度も盛会のうちに無事に終えることができ、心から御礼申し上げます。最近、日本でも世界的にも、いろいろな災害が多発しています。微力ながら、力添えできたらと願っています。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

● バザー売上げ寄付先

・福岡女学院同窓会奉仕会計	1万円
・福岡女学院同窓生合唱団「葡萄」	2万円
・福岡女学院中高生徒会	3万円
・福岡女学院中高YWCA	3万円
・国境なき医師団	2万円
・アフガン難民支援(ベシャワール会)	2万円
・NPO法人人口シナンテス	2万円
・子供の村福岡を設立する会	3万円
・日本キリスト教団徳之島教会	2万円
・福岡女学院教会	1万円

福岡女学院 創立128周年 同窓会ホームカミング&バザー

2013年5月18日(土)

メイポールダンス終了後
～同窓会センター(予定)にてコーヒーをどうぞ～

卒業生による手作品・バザー・ミッショングッズ等を販売いたします。
懐かしい先生方やお友達と楽しいティータイムをお過ごしください。
ご家族やご友人等とお誘い合わせのうえ、是非お越しください。



The 31st クリスマスにメサイアを

2013年
12/16(月)
19:00開演(予定)

「新しいメサイア」

第30回メサイアを無事盛会のうちに終了できましたことを御礼申し上げます。

第31回メサイアは新しい指揮者をお招きし開催することとなりました。

指揮者の鈴木優人(オランダ在住)さんは、作曲者、ピアニスト、チェンバリスト、オルガニストの肩書きもお持ちになり、宗教曲から現代曲まで、映像、ダンス、電子音楽なども駆使され、演奏に演出にその活動には垣根がありません。どうぞ新しい「メサイア」を期待してください。

今回は開催日が16日に変わっております。お間違えのないようお願い致します。

お誘い合わせの上、ご来場ください。

会 場	アクロス福岡シンフォニーホール
指 揮	鈴木 優人
合 唱	福岡女学院合唱団、九大コールアカデミー、西南シャントゥール他
管 弦 楽	福岡女学院メサイアオーケストラ
入 場 料	3,000円(全席自由)

団員募集 7月中、本部総務課で受け付けます。
はがき、電話、ファックス、Eメールいずれかで申し込んでください
名前、住所、電話、パート、女学院との関係をお知らせください
誠に申し訳ございませんが、今回未経験者は受け付けておりません。

本部総務課 福岡市南区日佐3-42-1 TEL:092-581-1492 FAX:092-575-2480
E-mail:messiah@fukujo.ac.jp

卒業50年を記念して、母校の卒業式にお招き致します。次回はS38年卒の皆様方です。
どうぞお楽しみに。当日は同窓会センターにて式後軽食の準備をしております。

日 時 2014年3月1日(土) 10:00～

場 所 ギール記念講堂



編集後記
ぶどうの
一粒

今号の同窓会会報「ぶどう」は桜の開花が待ち遠しいこの時期の発行といたしました。
発行日の都合上、これまで掲載していた内容が一部掲載できなくなりましたことをお詫び申し上げます。
会報「ぶどう」が皆様にこれまで以上に親しんでいただけるよう、広報一同努力してまいります。
同窓生の皆様のご意見・ご感想をお寄せください。また、掲載してほしい記事等があればお教え願えれば幸いに存じます。
(広報部 永田直美・井上時世・宗田奈穂子・末吉恵子)

同窓会会報
「ぶどう」より

ミッションファミリー(親子、姉妹が女学院卒)、活躍する同窓生など、ご紹介したいと思います。
ご存知の方は事務局までご連絡ください。

●福岡女学院同窓会会報「ぶどう」第18号 2013

福岡女学院同窓会

〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐 3-42-1

TEL・FAX(092)575-2479

【URL】 <http://www2.fukujo.ac.jp/alumnae/>

【E-mail】 alumnae@fukujo.ac.jp

■個人情報取扱いについて

2005年4月より、個人情報保護法が制定されました。個人情報を取り扱う同窓会事務局としても、慎重に皆様の会員データを管理しております。懐かしいお友達へのご連絡など、事務局へ沢山のお問い合わせがございますが、必ずご本人様への確認をさせていただいた上でお答えしております。同窓会会員には同姓同名の方が多くいらっしゃいます。データ管理の間違いを防ぐために生年月日のご確認をさせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

同窓会事務局

住所・氏名変更、同窓会会費その他お問い合わせ、ご連絡は同窓会事務局へ(受付時間:月～金 午前10:00～12:00/午後13:00～16:00)